

各 位

平成29年 5月15 日
(公社) 熊本県理学療法士協会
会長 北里 堅二
学術部部長 岩田 輝彦
学術研修班班長 今屋 将美

平成 29 年度「第 69 回学術研修会」のご案内

拝啓

新緑の候、皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、下記要綱にて平成29年度第69回学術研修会を開催する運びとなりました。

今回は畿央大学健康科学部理学療法学科准教授の岡田洋平先生をお招きし、「パーキンソン病に対する理学療法」というテーマでご講演いただきます。パーキンソン病の運動障害に対する理解を深め、評価や治療、患者様との関わり方の参考となる貴重な機会になると思います。ご多忙の折とは存じますが、皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

テーマ：パーキンソン病に対する理学療法

講 師：岡田 洋平先生

(畿央大学健康科学部理学療法学科准教授)

日 時：平成29年8月27日(日) 9:00～15:00 (受付8:30～)

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療関連職種

定 員：80名(定員になり次第締め切らせていただきます)

会 費：熊本県理学療法士協会会員 5,000 円／非会員 10,000 円

申し込み期間：平成 29 年 5 月 29 日(月)～7 月 30 日(日)まで

申込み

熊本県理学療法士協会HP “行事カレンダー”

ポイント

認定理学療法士(神経理学療法)、新プロ(C-1神経系疾患の理学療法)

受付

JPTA会員証持参(会員のみ)

お願い

個人の連絡先(メール・携帯電話)を入力してください!

*ご不明な点は下記までメールでご連絡ください。

問い合わせ先：社会医療法人黎明会宇城総合病院

リハビリテーション部理学療法科 西山千尋 ihyi_0208@yahoo.co.jp

第69回熊本県理学療法士協会学術研修会

テーマ『パーキンソン病に対する理学療法』

【講師紹介】

講師：岡田 洋平先生

所属：畿央大学保健科学部理学療法学科准教授



【学歴・職歴】

健康科学修士(畿央大学)

保健学博士(大阪府立大学)

【社会的活動】

パーキンソン病友の会奈良支部リハビリ担当

パーキンソン病患者会みどりの会顧問

奈良県難病相談支援センター医療相談員

奈良県理学療法士協会学術誌部長

【所属学会・国際会議等への参加】

(社)日本理学療法士協会, (社)奈良県理学療法士会, International Parkinson and Movement Disorder Society, Movement Disorder Society Japan, 日本運動障害研究会

【著書】

- ・ on-off障害を呈する患者に対する理学療法はどう行うべきか, 課題別 理学療法技術ガイド(分担), 文光堂, 2008
- ・ バランス障害, パーキンソン病の理学療法(分担), 医歯薬出版株式会社, 2011
- ・ 皮質ー基底核ループに対するクリニカルリーズニング. 標準理学療法学 神経理学療法学 (分担). 2013
- ・ 効果的なバランス練習はどうすればいいのか. パーキンソン病に対する標準的理学療法 (分担). 文光堂, 2014

【論文】

- ・ 地域高齢者におけるリーチ距離の見積もり誤差と転倒との関係. 理学療法学第35巻第6号, 2008.
- ・ Hoehn&Yahr重症度分類3度以上のパーキンソン病患者におけるpull testと転倒との関係について. 理学療法科学第24巻第1号, 2009.
- ・ 脳卒中片麻痺患者に対するSingle Side Step Testの信頼性および妥当性に関する検討. 理学療法科学 24(3), 2009.
- ・ パーキンソン病患者に対する部分免荷装置を用いた床上歩行練習の影響. 理学療法学37(2), 2010.
- ・ 疾患の進行に伴うパーキンソン病患者の足趾把持力低下. 理学療法学37(6), 2010.

などその他著者、論文多数執筆。